

## 平成30年度 入社式 社長挨拶（要旨）

皆さん、入社おめでとうございます。本日は、18名という近年では最も多くの新入社員をお迎えすることができました。これから皆さんとともに、会社としても勢いよく成長していけるものと確信しております。新たに当社の一員となられた皆さんに、歓迎の挨拶として2つのことをお願いしたいと思います。

### 1. 「働きがい」をもつ

一つ目は、「働きがい」をもっていただきたい。最近は一般的に安定や給料の良さを重視し、中小企業より大企業のほうに魅力を感じる学生が多いようです。私は皆さんには当社の一員として、「働きがい」を感じていただきたいと思います。先日、当社が施工した水尻橋という橋の開通式がありました。これは宮城県南三陸町の東日本大震災で甚大な被害を受けた場所です。開通までに7年かかりましたが、当社の施工した橋が復興の一路になれたというのは大変名誉なことだと思います。その開通の様子が地元テレビで放映されていましたが、地元の皆さんも大変喜んでおられましたし、当社の社員も非常にいい顔をしていました。復興の中で仕事に携わったことが、やりがいに繋がっているのではないかと感じました。また、先週は年度末退職される方の一人が、「退職後には今まで携わった橋を見て回りたい」と話しておりました。入社から40年以上経っても自分たちが施工した橋や構造物が現役で残っていることは、わたしたちにとって大変ありがたいことですし、働きがい、やりがいを感ぜられることではないかと思えます。皆さんには、技術や技能、知識や知恵を学んでいただき、1日でも早く一緒に働きがいを感じられるように成長していただきたいと思います。

### 2. 「多様な考え方」をもつ

二つ目は、「多様な考え方」をもっていただきたい。ダイバーシティという言葉があります。ダイバーシティというのは「多様性」ということですが、多様性という言葉の中にはいろいろな多様性があります。ひとつは人口減少を迎えているわが国において、国籍や性別、年齢を問わず皆さんの力を借りてやっていこうという意味での多様性です。当社も、今年初めて中国国籍の方を当社の一員として迎えました。また、人の属性だけでなく組織や環境への多様性という意味もあります。当社は「人への投資」を掲げた第1次中期計画を現在実行していますが、社会からも働き方改革や長時間労働の抑制、ワークライフバランスが求められる環境に変化しています。会社としても、そういった社会が求める多様性に組織としていろいろな見方を持ってやっていかなければならない時代です。

これは皆さんひとりひとりにとっても同じことだと思っております。ではどうしたら「多様な考え方」をもてるのか。私の考えでは、まず様々な考え方を一度自分の考えと違って受け入れることだと思えます。いろいろな考えすべてを受け入れ、その中で自分の考えと世の中はどう違うのかを判断して、自分の中で取捨選択していく、というのが多様性に対応する方法ではないかと考えます。

これから新入社員研修に入っていきますが、その中でも「働きがい」、「多様性」という言葉を思い出していただきたいと思えます。これから皆さんが社会人として企業や社会に貢献できる人財に成長されることを祈念して私の挨拶といたします。